



行事予定表	
1	月 元旦
2	火 休園
3	水 休園
4	木 保育始め
5	金 交通安全教室(4・5歳児) 給食費振替日
6	土
7	日 成人の日
8	月
9	火 ビヨビヨひろば
10	水 読み聞かせ(5歳児)
11	木 餅つき
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木 カレーの日(5歳児保護者自由参観)
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火 ふたばランド保育園と交流(5歳児)
24	水 リトミック(3歳児以上)
25	木 誕生会
26	金 避難訓練
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水



あけましておめでとうございます
変わらぬご支援ありがとうございます。

おめでとつにある めでるとは
愛するこつ、祝福するこつ

ありがとうございます 有難いこつ
めったにないこつ 感謝したい事

今年も又、
子ども達と健やかに過ごせる日々を
愛でたいと思う。感謝したいと思う。

不穏な世界ですが、子ども達に希望を語り
成長と輝く未来のために、
一所懸命に頑張ります。

●交通安全教室(5日)
チャイルドシート着用に大切さを子ども達に伝えて下さいませ。チャイルドシート使用してありますか？

●もちつき(11日)
今年も3歳児以上が、大きな臼と杵で餅つきを行います。0・1・2歳児は出来上がったもちを使いミニ臼とミニ杵で餅つきを楽しみます。昼食は、全員うどんと0・1歳児わかめご飯、2・3歳児きな粉ぼたもち、4・5歳児きな粉もちです。楽しい経験となりますように！

●カレーの日(18日)
今回は、5歳児の保護者のみ自由参観と致します。8:30~11:00の間ですが、駐車場の利用についてはご遠慮下さい。詳細につきましては後日お知らせします。

●ふたばランド保育園と交流(23日)
ふたばランド保育園に行き、5歳児との交流を楽しみます。

●リトミック(24日)
リトミックは、0歳児から普段の保育の中で楽しんでいます。職員の研修も子ども達の午睡中に行っています。



●誕生会(25日)
誕生日は、子ども達が産まれた大切な日ですね。産まれた時のエピソードを伝えてみていいですね。

★お知らせ☆
●2月の保育参加について
毎年保育参観を行ってきましたが、今年度は保護者の方にも一緒に活動して頂く保育参加になります。(3歳児以上は、合奏もその中で披露します。)

●私の愉快的仲間たち
昨年は戦争、環境破壊、少子化と、暗い話ばかりだったので、新年は楽しい愉快なお話をしたい。

①私は、午前中は、来客を断って、できる限り、子ども達と遊ぶことにしている。年少さん達と走り回って遊んでいるところに、来客があった。仕方なく、子ども達に「お客さんだから、タイム」と言って、部屋に入った。来客と話をしていると、窓から数人が顔を出し、「まだいるの？少しつと言ったでしょ？早くおいでよ」と言った。「もう少し待って」と話を続けた。少し経つと、またやって来て、今度は少し強い口調で、「まだいるの！少して言ったでしょ？」と口を尖らせた。来客は、困ったような顔をしてニガ笑い。「イヤー参ったな、大変お邪魔虫のようで、そろそろ・・・」腰を上げると「オーイ、もう帰るってよ、良かったな」と、来客の退散を喜び合っていた。来客は、「貴重なお時間をありがとうございました。来客は、もう帰っていいと、ありがとうございました。」とスゴスゴ帰っていった。子ども達と私との貴重な時間を邪魔する者は、来客と言えども、子ども達は遠慮会釈もなく追い返してしまう。



②大人の一年の差は、どうという事もないが、子ども達の一年は、大変大きく重要だ。誕生会の後、4歳になったA君が、胸を張ってやって来た。「僕はもう4歳なんだ」と言うのと、横にいたB君が「なんだ、まだ4歳か、僕なんか5歳だ」と誇らしげに言った。すると、4歳のA君は、よほど悔しかったのか、ボクのおとうさんなんか15歳だ！とお父さんを持ち出し反撃した。A君はおそらく15までしか数えられなく、それが最大だったのだろう。すると、そのやりとりを聞いていた6歳のC君が、「お前ら、バカだな、オレ(年長になるとオレになる)のお兄ちゃんには15歳で中学生だぞ、中学生のお父さんなんかいるわけない。お父さんは、だいたい30歳以上だ」と言った。AもBも奇妙になって、C君を尊敬の眼差しで見上げた。すると、C君が、「園長先生はいくつ？」と、矛先を私に向けた。私は彼等に小石を拾ってくるように伝えた。小石を1つずつ並べながら、数を数え続けた。一つ、二つ三つ四つ・・・これがA君、五つB君、六つC君そして、小石を並べながら数を数え続けた。30を過ぎる頃には、「ここらがお父さん達」と言って、更に続けると、ドンドン子ども達が集まってきた。40を過ぎる頃から「ワー、スゲー」と言い出し大騒ぎ。そして、石が60になり、「スゲー、スゲー」は最高潮に。しかし、数の分かるC君は、50を過ぎる頃から黙り込んでしまった。そして「60」で手を止めると、C君は静かに寂しそうに私を見上げて「もうすぐ死んじゃうんだね」とポツリと言った。あれから20年、彼も26歳になっている。どんな男になっているだろう。私は、まだまだ元気いっぱいだ。

理事長 浅田 精利

